

加盟団体各位様

お手数ですが受信されましたら、ご担当におわたしてください。

右京社保協事務局（川村）

空(時代と世界)をみて、地(右京)をふみしめて！ 社会保障制度の拡充と活用を！

右京社保協事務局通信

2020. 10. 02

京都市右京区西院上花田町 36-3 右京民主商工会内 Tel 075-312-2257 Fax 312-2439

◇コロナ禍の中、生活保護費の削減は止めろ！消費税は5%に戻せ！京都の最低賃金の据え置きは許さない！10・1共同署名宣伝行動・17名が参加し、4団体の代表がリレー形式で抗議と怒りの訴え



今年の10月1日は、私たちにとって忘れてはならない日。第一には、受給世帯の67%に影響を与える生活保護費の削減が実施された日。第二には、消費税率が10%に引き上げられて丸一年となる日。第三には、京都の最低賃金が時給九〇九円で据え置きが実施された日。コロナ過の中、これは絶対に認められない。

行動には、右京民商の高木新会長をはじめ17名が参加、生活保護受給中の生健会会員さんも駆けつけてくれました

右京生健会の勝浦事務局長は、生存権裁判を闘う受給者の生活実態や思いを紹介しながら、生活保護基準の低さを告発しつつ、削減が他の制度の基準にも影響を与え

◇第16回右京社保協総会の開催要綱を新型コロナの感染拡大防止も考慮し、次ぎのように確認しました。

開催日時：12月12日(土)午後2時～午後3時 会場：未定

議事：規約において総会決議が必要となっている事項

規模：各団体から1名

る国民的な問題であることを強調。あわせて、生活保護申請は安倍前首相も認めざる得ない権利であり、気軽に相談してほしいと呼びかけました。

右京民商の小原事務局長は、コロナ禍と消費税率の引き上げの中での相談事例も紹介しながら、消費税率の引き下げが最大の支援策であり、景気回復の最良策であることを訴え、署名運動への協力を呼びかけました。

年金者組合の平井事務局長からは年金の引き下げへの抗議、日本共産党の西村前市会議員からは京都市の市民サービスカット・負担増をすすめる「行財政審議会」の問題点の訴えもされました。

★定例宣伝 各団体のリレートークをします 独自の署名用紙やグッズも持ち込んで下さい。

10月度 とき10月13日(火)17時～(30分間) ところ:阪急西院

★定例幹事会 京都市の行財政審議会についてのミニ学習を予定しています。

10月度 とき10月13日(火)18時～ ところ:右京民商